

誰だって、いつだって、健康でいたい。

そんな想いで、田七が健康食品「雲南田七」となって

新たに生まれ変わりました。

田七は、朝鮮人参と同族のウコギ科人参属の植物の根で、三七人参とも呼ばれています。中国雲南省か周囲の南部の一部でしか生育しないため雲南田七といわれ、栽培・採取される量も非常に少なく、朝鮮人参以上に優れたものとして珍重されています。

田七が〈金不換〉—お金にも換えられないほど貴重なもの—とも呼ばれるのは、中国でも王族や権力者など一部の人々にしか入手出来ない貴重で高価なものだったからです。

中国の明の時代に、李時珍という人が編纂した書物に、田七が特上のものとして、正規に紹介されています。朝鮮人参は古来より重宝されていますが、田七の主成分はサポニン配糖体で、朝鮮人参と大変類似しています。

暴飲・過食、食のアンバランスが現代のすがたです。「食」を考え直すときです。

究極の健康食として、中国3000年の叡智と経験の中から、田七が再認識されました。



### 「雲南田七」のすぐれた特長

1. 田七は、成熟した6年根が最も良質ですぐれているとされていますが、品不足のため、日本には未成熟の品質の劣ったものが多く入ってきていますので注意が必要です。

当品「雲南田七」は、厳選した粒の大きな成熟した6年根のみを材料にし、製造しています。

2. 市販されている従来の「田七」は、田七根を粉末にしたものがほとんどで、その細末は、口中に広がったり、上あごやのどに引っかかり、大変飲みづらいものです。また、水や白湯に溶いてもなかなか溶けず、当然体内に入っても吸収は良くありません。雲南田七は、のみやすく、水に溶けやすく、吸収の良い顆粒タイプです。

3. 田七の末は非常に吸湿性が強いいため、少量ずつヒートシールにして品質を守っています。さらに金地フィルムパックにしたのも金が一番耐湿性にすぐれているからです。またヒートシールなのでのむ量をはかる手間も省け、携帯にも大変便利になりました。



可憐な花からは想像できない田七の根



名称	雲南田七 うんなんでんしち
形状	粒状(顆粒)
成分	パナキサジオール、パナキサトリオール、鉄分、カルシウム、たんぱく質、脂肪、糖分
包装	●1包×1.5g、金パックヒートシール ●1箱×60包 ●1組×2箱(120包) (販売単位は1組=2箱(120包)) ●1カートン×5組(10箱=600包)
価格	1組(60包×2箱=120包)36,000円(消費税別)

導絡

総販売元：株良導絡研究所



〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-24-1 遠山ビル

TEL : 03 (3376) 0050 FAX : 03 (3376) 0054

E-mail info@ryodoraku.co.jp ホムページ http://www.ryodoraku.co.jp/

■取扱い